

議事録

会議名	令和5年度（2023年度）交付分 第一回市民企画事業補助金申請事業評価会議
日時	令和4年（2022年）12月10日（土） 午後2時 ~ 4時
会場	クリエイトホール 8階 男女共同参画センター打ち合わせスペース
参加者	岡田実、西山茂、千葉瑞姫、岡本彰子、土屋和子、葛西昭人（敬称略）
欠席者	久保律子（敬称略）
事務局	青柳協働推進課長、長尾千恵主査、馬場奈那子主任
議題	1 委員の自己紹介 2 事務局の紹介 3 市民企画事業補助金申請事業評価会議について 4 座長・副座長の選出 5 令和5年度（2023年度）補助対象事業の募集及び評価のスケジュール等について 6 その他
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
配付資料	資料1-1 市民企画事業補助金申請事業評価会議 参加者名簿 資料1-2 市民企画事業補助金申請事業評価会議開催要綱 資料2 令和5年度（2023年度）市民企画事業補助金補助対象事業 募集要項（案） 資料3 令和5年度（2023年度）市民企画事業補助金申請事業 評価の流れ 資料4 令和5年度（2023年度）市民企画事業補助金補助対象事業の審査に関する取扱要領 資料5 令和5年度（2023年度）市民企画事業補助金 補助対象事業の採択基準（案） 資料6 令和5年度（2023年度）市民企画事業補助金 事務日程表（案） 参 考 審査体制・方法・評価項目等一覧 これまでの応募・採択件数および交付金額の推移 令和4年度（2022年度）市民企画事業補助金交付事業の進捗状況 応募書類 様式1 市民企画事業補助金申込書 様式2 市民企画事業実施計画書 様式3 市民企画事業収支計算書 確認書 公開プレゼンテーション確認書・新型コロナウイルス感染症確認事項 追加資料 様式1～様式9 事務局確認シート、予備評価シート、申請事業評価シート 令和3年度（2021年度）市民企画事業補助金 成果報告書 令和4年度（2021年度）市民企画事業補助金 審査結果のまとめ

会議の内容	青柳協働推進課長 挨拶
	各参加者の自己紹介
	事務局職員の紹介
	市民企画事業補助金申請事業評価会議について
	<p>座長副座長の選出</p> <p>要綱第4条に基づき、互選により選任することになっているが、事務局からの提案により、以下のとおり決定した。</p> <p>座長：岡田委員</p> <p>副座長：西山委員</p> <p><以降、岡田座長が進行></p>
資料2を基に制度の概要と補助対象事業の募集について事務局から説明。	
<質疑応答>	
委員	
A.活動支援部門について、上限10万円できちんと運営できているのか。令和4年度(2022年度)の進捗状況はどうなっているのか。	
事務局	
参考の資料を基に、進捗状況は団体ごとに異なる旨を説明。「A.活動支援部門」については上限10万円の範囲内で実施することを前提に申請しているため、運営はできていると判断している。	
座長	
10万円という金額で実施できるのか少し心配である、という意図の質問。	
令和4年度(2022年度)「C.事業連携部門」に申込んだ1団体の不採択の理由は何か。	
事務局	
追加配付資料「令和4年度(2021年度)市民企画事業補助金 審査結果のまとめ」を基に説明。効果ははっきりと見えないことが不採択の理由である。	
委員	
「C.事業連携部門」については、本当に連携することで発展できるのか、という難しい面もある。他団体との連携は市民活動団体にとって課題であり、必要なこと。連携するには、お金の面はもちろん両団体をコーディネートしていく必要がある。行政がコーディネートの助言をすることで、市民活動の層を厚くすることになるのではないか。	

座 長

「C.事業連携部門」の「活動分野が異なる団体」という要件は令和4年度（2022年度）からのものか。

事務局

そのとおり。

座 長

資料2のp.1「2応募できる団体」の について、今のご時世大きな問題になるかと思うが、今までこの要件で引っかかった団体はあるのか。

事務局

この要件で引っかかった団体はない。

委 員

担当課による評価はどうやって行うのか。

事務局

追加配付資料「様式4～様式6 予備評価シート」を基に説明。

座 長

公開プレゼンテーション当日に、一般市民の参加はあるのか。

事務局

団体関係者以外の参加はほぼいない。事務局としては企業関係者等にも来てほしいと考えているが、なかなか難しい。市の広報に掲載し、周知を図っている。

令和5年度（2023年度）補助対象事業の評価方法について

事務局

資料3、4、5、6により、評価の方法及び日程等について説明。

< 質疑応答 >

委 員

参考資料 を見ると、過去最大の応募件数は50件を超えている。来年度50件の申し込みが来たらどうするのか。公開プレゼンテーションも評価もすぐにはできないと思うが。

事務局

申込件数については現段階では判断できない。もし 50 件を超えるような多くの申込みがあった場合は、その時に委員に相談する。公開プレゼンテーションも土曜日、日曜日に分ける、お昼を挟んで実施するなど、実施方法についても合わせて相談する。

なお、予算状況は大変厳しい状況。来年度予算についても今年度よりは減らされてしまうことが想定されるため、なるべく有効に使いたいと考えている。

委員

新型コロナウイルス感染症感染拡大前も、公開プレゼンテーション等会議はオンラインで実施していたのか。

事務局

新型コロナウイルス感染症感染拡大前は、対面で実施していた。

委員

オンラインで実施するよりも、対面の方が雰囲気や空気感がつかみやすいのでは。それでも、今後の会議はオンラインで実施するのか。

事務局

対面での実施ももちろん可能。委員の皆様次第と考えるがいかがか。

委員

率直な意見は対面の方が出やすい。

委員

公開プレゼンテーションの時の団体発表も、オンラインよりは対面で聞いた方がよいのでは。

委員

実施時の感染状況に応じて考えても良いのでは。

座長

この場の多数の意見は「対面での実施」であるが、本日欠席している委員の意見も確認し、事務局で調整してほしい。

事務局

事務局で調整する。また、場合によっては会場が市役所になる可能性もあるため、そこ

は留意してほしい。

公開プレゼンテーションについては調整するが、4月15日(土)の第3回会議は対面かオンラインかどちらがよいか。

委員

対面が良いのではないか。又は、直接来ることが難しい方はオンラインで参加する方法もある。

委員

「B.事業実施部門」及び「C.事業連携部門」は公開プレゼンテーションがあるが、「A.活動支援部門」はどうやって評価するのか。公開プレゼンテーションの時に合わせて評価するのか。

事務局

公開プレゼンテーションの時は「B.事業実施部門」及び「C.事業連携部門」のみ。「A.活動支援部門」は団体からの申込書類と担当所管課の評価シートを基に評価してほしい。

委員

同じような事業内容で申し込んでくる団体もあると思うが、その時はどうするのか。

事務局

内容が似通っていても、各団体の事業を評価するため、「似たような事業があるから」という理由では不採択とはしていない。

委員

「昨年度も同じ分野で同じような内容の事業があった」と市民が感じて、そこは問題ないということか。

事務局

そのとおり。

委員

来年6月に、令和4年度(2022年度)の団体の評価を行うが、事業が実施できなかった団体は、その分返金する必要があるのか。

事務局

そのとおり。

委 員

年度途中で事業変更があった場合、団体は事業変更届を提出する必要があると思うが、その内容について、委員は審査しなくてもいいのか。

事務局

今までは事務局で判断できる範囲の変更だったため、特に委員の方に判断を仰がなかったが、今後委員の意見が必要になることもあるかもしれない。その時は願います。

座 長

募集期間と周知期間がほぼ同じだが、周知期間を少し早めたほうがいいのでは。

事務局

予算内示の関係でこのスケジュールになっている。早めるのは少し難しい。

委 員

多くの市民活動団体は、様々な助成金の情報を常に集めているため、このスケジュールで特に問題はないと思われる。

座 長

他に意見がある場合は直接事務局へ連絡してほしい。

今後の評価会議日程について

事務局

今後のスケジュールについて、資料6「事務日程」で説明。

- ・ 第一回評価会議（本日の会議となる）
- ・ 第二回評価会議（公開プレゼンテーション）

令和5年（2023年）4月8日（土）

原則対面実施。会場はクリエイトホールの視聴覚室を予定しているが、対面で実施することを鑑み調整する。

- ・ 第三回評価会議

令和5年（2023年）4月15日（土）

原則対面実施。会場については調整中

- ・ 第二回、第三回の時間、会場については決定次第連絡する。